

第2回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 第2回稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会
2. 開催日時 平成30年10月25日(木) 19:00~20:00
3. 開催場所 稲築公民館2階 講義室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)

6. 出席者

(1) 委員

会長 松熊満江

副会長 永富靖人

委員 大力智司、山本真之、平岡真由美、橋本武彦、平井由子、荒川孝子

井上剛、上野二郎、高津圭一

\*欠席委員1名 松岡琢磨

(2) 事務局

学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課参事 大森雅明、学校教育課長補佐 北富真治

学校教育課長補佐 赤坂晋、教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐

教育企画係 山口陽子

(3) 関係者

※碓井中学校区・稲築中学校区小中一体型校施設整備基本計画策定業務受託業者

株式会社 海渡設計

7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人

8. 議題及び協議の内容

【議題】

(1) 計画候補地の選定について

(2) その他

【協議の内容】

(1) 計画候補地の選定について

○計画候補地について、資料4に沿って説明を行った。(事務局)

(2) 施設配置について

○敷地内の施設配置について、追加資料5に沿って説明を行った。(事務局)

(3) その他

○稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会スケジュールについて、説明を行った。(事務局)

説明を受け、協議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)

○中学校と小学校の高さの差が約3mあるが、平坦にすることは出来るのか。

→3mの段差を詰めることは費用的にも難しい。効率的な施設整備を進める為には段差をメリットとして捉え、段差の活用も考えられる。(事務局)

○給食センター敷地は活用できるのか。

→給食センター敷地は学校用地のため、跡地の活用は計画できる。しかし、給食センターで受け持つ学校は稲築中学校区と稲築東中学校区であるため、稲築中学校区が自校式給食に移行した後も、稲築東中学校区が自校式給食に移行するまでは給食センターの利用を続けなければならない。(事務局)

○稲築プール敷地の活用はできるのか。

→稲築プール敷地は学校用地ではないため、学校としての計画は難しい。(事務局)

○計画候補地として、稲築西小学校と稲築中学校の約58,000㎡を活用してほしい。

○学校配置においては、セキュリティに配慮してほしい。

○中学校グラウンドと小学校グラウンドがそれぞれあることは良いと思う。低学年向けの遊具場もあると良いと思う。

○資料5では体育館が現中学校体育館と同じ位置に1つあるが、既存施設の利用となるのか。また、小中一体型校で1つの体育館を使用することになるのか。

→経済的で効率的に施設整備を進めてほしいとの意見があるため、使える施設については改修を行い使っていきたい。現中学校体育館はバスケットコート2面分の為、小中一体型校としての必要面数不足分は追加していく必要があると考える。(事務局)

○市の行政改革関係の社会体育施設の廃止に伴い、稲築地区に社会体育施設が無くなること。学校施設の開放をするにしても部活動が利用しているため体育館が2ついるのではないか。敷地面積は足りるのか。

○嘉麻市防災マップでは稲築西小学校は浸水の恐れがあるため避難所になっていなかったように思う。

→洪水ハザードマップ等で確認する。(事務局)

○仮設校舎の有無を含めて工事期間はどのくらいなのか。

→校舎の建設だけで約1年半、仮設校舎の利用がある場合は約2年半の工事期間。(事務局)

○稲築中前交差点から稲築中学校敷地を横切って西側市道まで続く道をつくる可能性はあるのか。

→道路関係についての計画は不明。(事務局)

## 9. 配布資料

(1) レジュメ

(2) 第2回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 資料

<参考4>小中一体型校舎において想定されるメリット・デメリット

【資料4】施設の現状

【資料5】稲築中学校区の現敷地内での改築について ※追加資料

(3) 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会スケジュール (予定)